

第 51 回「山形県内企業の景気動向調査」 確報

(平成 29 年 5 月調査)

～業況は改善ながら、先行きは悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が 6.0 (前回調査比 9.1 ポイント上昇) と **改善**となり、平成 26 年 5 月調査以降 12 期ぶりにプラスに転じた。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、すべての項目で改善となり、中でも「売上高」「営業利益」の改善幅が大きくなっている。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が 11.6 (前回調査比 14.7 ポイント上昇)、製造業が 17.9 (前回調査比 11.9 ポイント上昇)、卸・小売業が▲22.1 (前回調査比 6.0 ポイント下落)、サービス業が 15.4 (前回調査比 17.3 ポイント上昇) と、**卸・小売業で悪化**となったものの、**その他 3 業種で改善**となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲2.8 (前回調査比 0.1 ポイント下落)、村山北部が 12.0 (前回調査比 19.2 ポイント上昇)、最上が▲7.1 (前回調査比 0.5 ポイント下落)、置賜が 7.4 (前回調査比 15.6 ポイント上昇)、庄内田川が▲1.2 (前回調査比 4.8 ポイント上昇)、庄内飽海が 25.6 (前回調査比 18.7 ポイント上昇) と、**村山南部と最上でほぼ横ばい**となり、**村山北部、置賜、庄内田川および庄内飽海で改善**となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲9.0 (今回調査比 15.0 ポイント下落) と大幅に悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **夏季ボーナス**について尋ねたところ、全業種でみると、「支給する」と回答した企業の割合は 58.5% と前年 (56.8%) に比べ、1.7 ポイント上昇した。
- **春季以降の賃金改定動向**を尋ねたところ、賃上げを実施する企業の割合 (「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」) は、全業種で 51.6% と 5 割以上を占め、前年 (43.2%) に比べ、8.4 ポイント上昇した。

平成 29 年 6 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	5
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	9
3. 地域別の動向	11
(1) 地域別の概況	11
(2) 地域別 D I 値の動向	12
① 村山南部	12
② 村山北部	13
③ 最上	14
④ 置賜	15
⑤ 庄内田川	16
⑥ 庄内飽海	17
II. 景気の天気予報図	18
III. 特別調査	19
1. 夏季ボーナスについて	19
(1) 支給予定動向	19
(2) 支給予定額	21
2. 春季以降の賃金改定動向について	23
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	24
<参考資料 II : 調査の概要>	24

I. 県内企業の業況

1. 概況

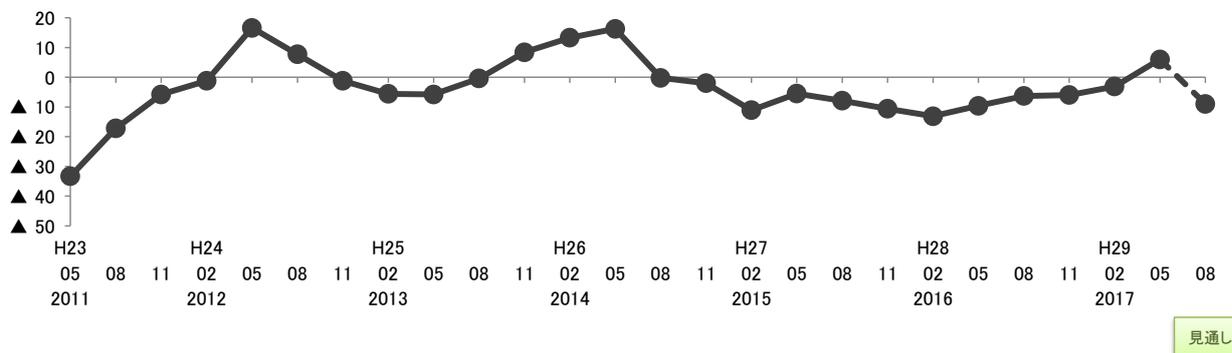
現状判断：5期連続で改善

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が6.0（前回調査比9.1ポイント上昇）と改善となり、平成26年5月調査以来12期ぶりにプラスに転じた。「各種DI値（前年同期比）」をみると、すべての項目で改善となり、中でも「売上高」「営業利益」の改善幅が大きくなっている。

来期の見通し：大幅な悪化が見込まれる

先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲9.0（今回調査比15.0ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	(3.5)	▲ 19.9	▲ 10.4	▲ 9.1	15.8	▲ 7.1
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	(3.3)	▲ 14.0	▲ 7.2	▲ 6.6	19.1	▲ 8.5
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	(0.3)	▲ 11.9	▲ 6.5	▲ 5.2	24.8	▲ 5.0
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	(2.9)	▲ 10.1	▲ 3.2	▲ 5.9	25.3	▲ 4.3
H 29.05 (n=419)	6.0	(9.1)	▲ 10.6	4.6	4.1	28.6	▲ 1.5
前回調査比	-	-	-	(7.8)	(10.0)	(3.3)	(2.8)
先行き見通し	▲ 9.0	-	-	▲ 12.9	▲ 14.1	29.3	▲ 10.9
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 17.5)	(▲ 18.2)	(0.7)	(▲ 9.4)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

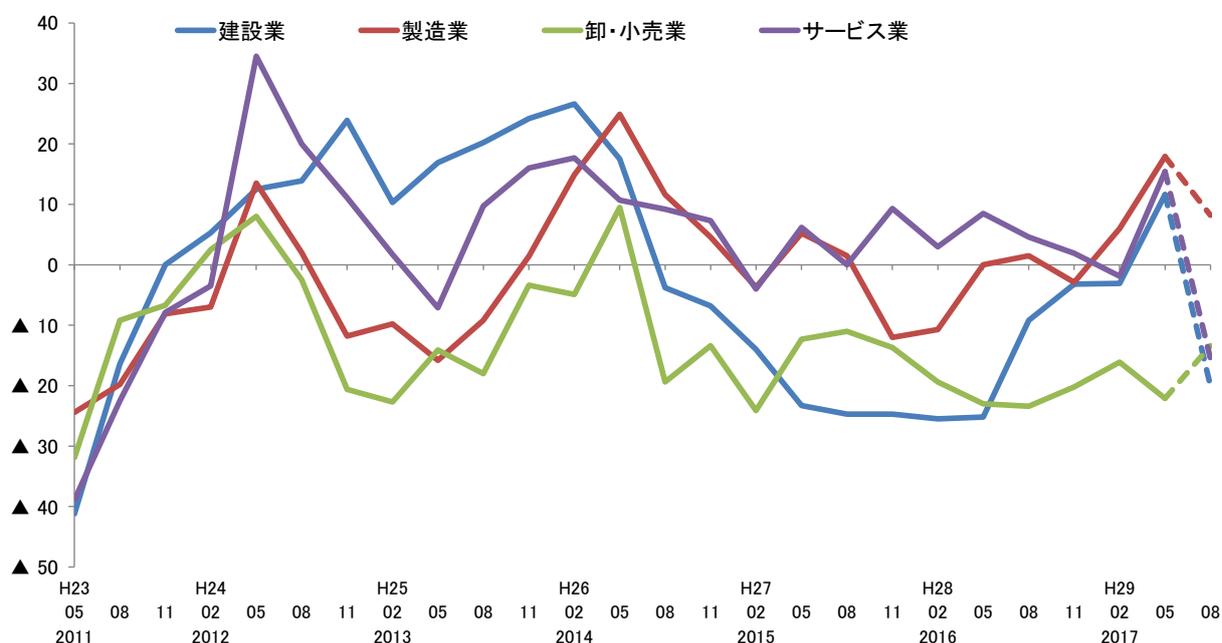
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が 11.6（前回調査比 14.7 ポイント上昇）、製造業が 17.9（前回調査比 11.9 ポイント上昇）、卸・小売業が▲22.1（前回調査比 6.0 ポイント下落）、サービス業が 15.4（前回調査比 17.3 ポイント上昇）と、卸・小売業で悪化となったものの、その他 3 業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、卸・小売業で改善が見込まれるものの、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。

図表 2 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 25.2	0.0	▲ 23.0	8.5
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	▲ 9.2	1.5	▲ 23.4	4.6
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 20.2	1.9
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.0	▲ 16.1	▲ 1.9
H 29.05 (n=419)	6.0	11.6	17.9	▲ 22.1	15.4
前回調査比	(9.1)	(14.7)	(11.9)	(▲ 6.0)	(17.3)
先行き見通し	▲ 9.0	▲ 20.0	8.2	▲ 13.4	▲ 15.5
今回調査比	(▲ 15.0)	(▲ 31.6)	(▲ 9.7)	(8.7)	(▲ 30.9)

(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

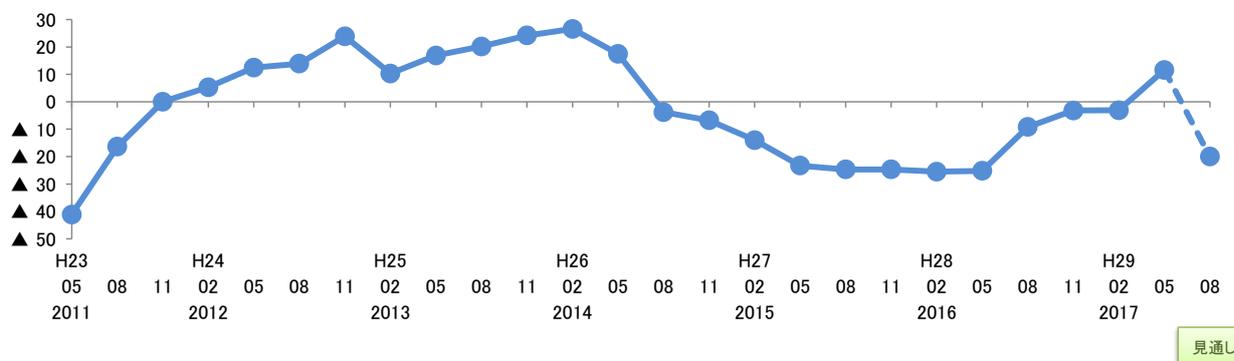
現状：大幅に改善

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 11.6（前回調査比 14.7 ポイント上昇）と大幅に改善となり、平成 26 年 5 月調査以来 12 期ぶりにプラスに転じたが、背景として公共工事の増加傾向などの影響が考えられる。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」が改善となった。

来期の見通し：大幅な悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲20.0（今回調査比 31.6 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。足元は公共工事請負金額が 3 月まで前年比増加傾向で推移したが、4 月は前年を下回っており、先行き不透明な状況がうかがえる。

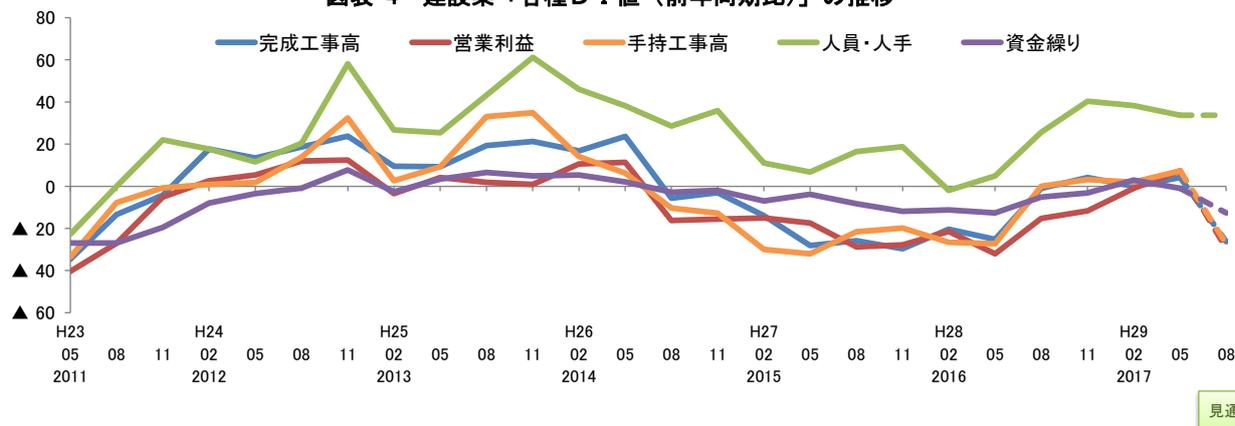
図表 3 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 28.05 (n=103)	▲ 25.2	(0.3)	▲ 37.7	▲ 25.2	▲ 32.0	▲ 27.2	4.9	▲ 12.6
H 28.08 (n=98)	▲ 9.2	(16.0)	▲ 30.1	▲ 1.0	▲ 15.3	0.0	25.6	▲ 5.1
H 28.11 (n=94)	▲ 3.2	(6.0)	▲ 20.4	4.2	▲ 11.7	3.2	40.4	▲ 3.2
H 29.02 (n=99)	▲ 3.1	(0.1)	▲ 17.0	0.0	▲ 1.0	2.0	38.3	3.0
H 29.05 (n=95)	11.6	(14.7)	▲ 13.2	4.2	7.3	7.3	33.7	▲ 1.0
前回調査比	-	-	-	(4.2)	(8.3)	(5.3)	(▲ 4.6)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 20.0	-	-	▲ 26.3	▲ 29.5	▲ 27.4	33.7	▲ 12.6
今回調査比	(▲ 31.6)	-	-	(▲ 30.5)	(▲ 36.8)	(▲ 34.7)	(0.0)	(▲ 11.6)

図表 4 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 現在、建築大型工事を受注し手持ち工事はあるが、土木公共工事の発注が無い。(村山南)
- 工事量は変わらないが、労務費の上昇のため利益は少ない。(村山南)
- 公共工事は見込めないで民間に力を入れていく (村山北)
- 手持ちの工事が少ないため、今期は厳しい状況になる。(最上)
- 今期は住宅の新築、リフォームの受注が数件あるのでまずまずの状況。(置賜)
- 第3四半期に受注した工事が年度繰越となり4~5月は今までになく忙しい時期となる。(庄内田川)
- 受注件数はさほど変わらないが、1件当たりの受注額の格差から売上高、利益額に大きく影響している。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 民間工事が比較的に見込めるため完工高は伸びると思われるが、住宅などの工事を主に請け負っている事業所は相変わらず厳しい状況と思われる。(村山南)
- 年々施工する工事が無くなり先行き厳しい。(村山北)
- 非常に厳しい。人員を増やし、教育、免許の取得に力を入れたい。(最上)
- 来期も引き続きの物件の他、その他の工事等（消雪関係）も助成金等を活用して進めていきたい。(置賜)
- 公共工事が減る見通しのため、他の営業分野の強化をはかる。(庄内田川)
- 人員を増員して売上高を増やしたい。(庄内飽海)

② 製造業

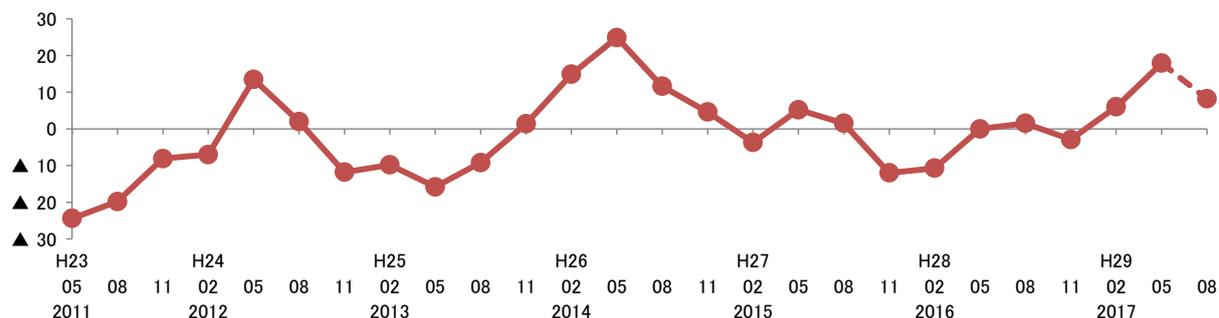
現状：2期連続で改善

「自社の業況DI値（前年同期比）」は17.9（前回調査比11.9ポイント上昇）と2期連続で改善し、DI値のプラス幅が拡大した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」が3期連続で悪化となったものの、「売上高」は2期連続で改善しており、「営業利益」「資金繰り」はプラスに転じた。「人員・人手」は前回調査比10.7ポイント上昇し、人手不足感が増している。「仕入価格」が大幅悪化となった背景として、原材料費高騰の影響などが考えられる。

来期の見通し：悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が8.2（今回調査比9.7ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 5 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移

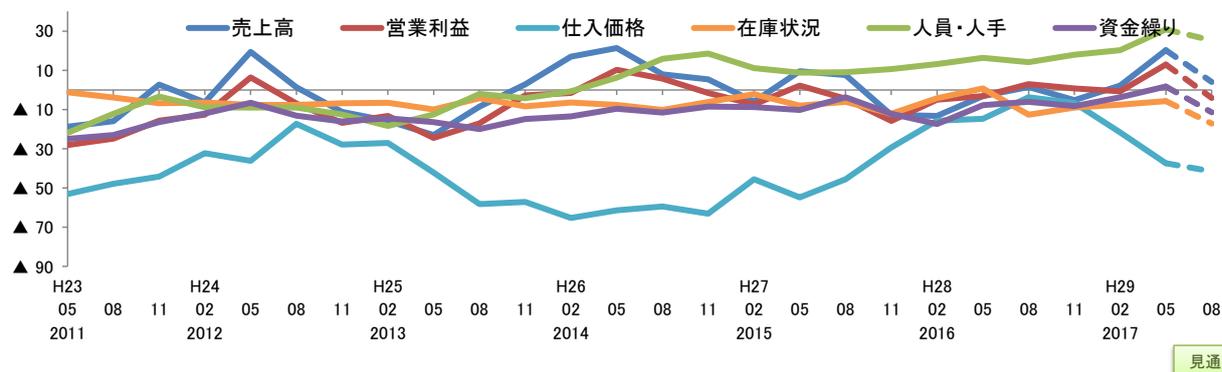


見通し

前年同期比の自社業況DI値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.05 (n=129)	0.0	(10.7)	▲ 10.7	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 14.7	0.8	16.3	▲ 7.8
H 28.08 (n=134)	1.5	(1.5)	3.9	1.5	3.0	▲ 3.7	▲ 12.7	14.2	▲ 6.0
H 28.11 (n=134)	▲ 2.9	(▲ 4.4)	▲ 7.5	▲ 5.2	0.8	▲ 6.7	▲ 9.0	18.0	▲ 8.2
H 29.02 (n=134)	6.0	(8.9)	4.5	2.2	▲ 0.7	▲ 21.7	▲ 7.5	20.2	▲ 3.7
H 29.05 (n=123)	17.9	(11.9)	▲ 9.0	20.3	13.0	▲ 37.4	▲ 5.7	30.9	1.7
前回調査比	-	-	-	(18.1)	(13.7)	(▲ 15.7)	(1.8)	(10.7)	(5.4)
先行き見通し	8.2	-	-	4.1	▲ 4.1	▲ 41.5	▲ 17.1	25.2	▲ 11.4
今回調査比	(▲ 9.7)	-	-	(▲ 16.2)	(▲ 17.1)	(▲ 4.1)	(▲ 11.4)	(▲ 5.7)	(▲ 13.1)

図表 6 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 液晶関連装置の受注が好調で、昨年よりも半期は経常収支で大幅改善が進んでいる。(村山北)
- 今期の業況として、東京オリンピック案件やそれに付随した建築物の仕事が急激に出始める。(最上)
- 今期来期は受注が上向いているので、売り上げは増える見込みだが仕入れ価格の上昇で利益は下がる見込み。(置賜)
- 順調に推移しているが、品質に対する顧客の要望がますます高まっている。(庄内田川)
- 今期は、主力のお客様からの比較的安定した受注が見込めた。(庄内田川)
- 今期は売り上げ増よりは、利益率アップに重きを置き、組織改革・意識改革・環境改革に取り組んでいく。新製品の受注が拡大され、利益確保のための方策を進めている。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 残業にて対応しているが、交代制にして工場の稼働時間延長を検討している。(村山南)
- 世代交代が進みつつあり、社員の技能レベルアップが会社の業績向上につながるように、社内的人事などのシステム改革を実行する。(村山北)
- 競合先との差別化、自社独自の進化、海外進出を果たし軌道に乗せたい。(最上)
- 少ない人員でいかに効率的に業務を遂行できるかが今後のポイントと考え、今年度は改めて管理職者研修を開始すると同時に階層別研修を順次実施して「人造り」を推進している。(置賜)
- 現状及び従来の加工に付加した加工製品の開拓と新技術研究の加速を実行している。(庄内田川)
- ユーザーの要望を含め、世の中の新素材の動向を見ながらこれに対応すべく第 2 の新製品開発を進めていく。従来の業務スタイルにとらわれず、新しい利益スタイルも模索する。(庄内飽海)

③ 卸・小売業

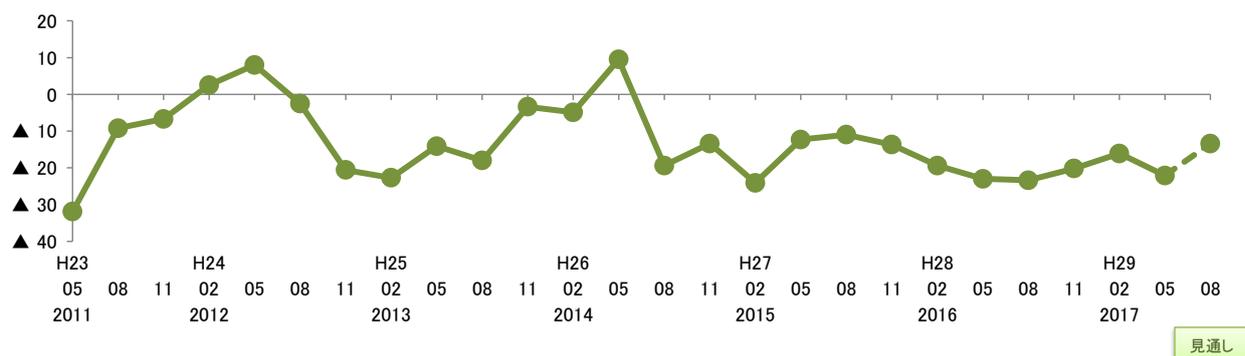
現状：3期ぶりに悪化

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲22.1（前回調査比6.0ポイント下落）と3期ぶりに悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、すべての項目で悪化となっている。「人員・人手」以外の5項目がマイナスで推移しており、「自社の業況DI値」とともに低調な推移が続いている。原材料費・輸送費の高騰に伴う販売価格の上昇などから消費低迷が進んでいると考えられる。

来期の見通し：改善が見込まれる

業況の先行き見通しは、▲13.4（今回調査比8.7ポイント上昇）と一進一退の状況となっている。

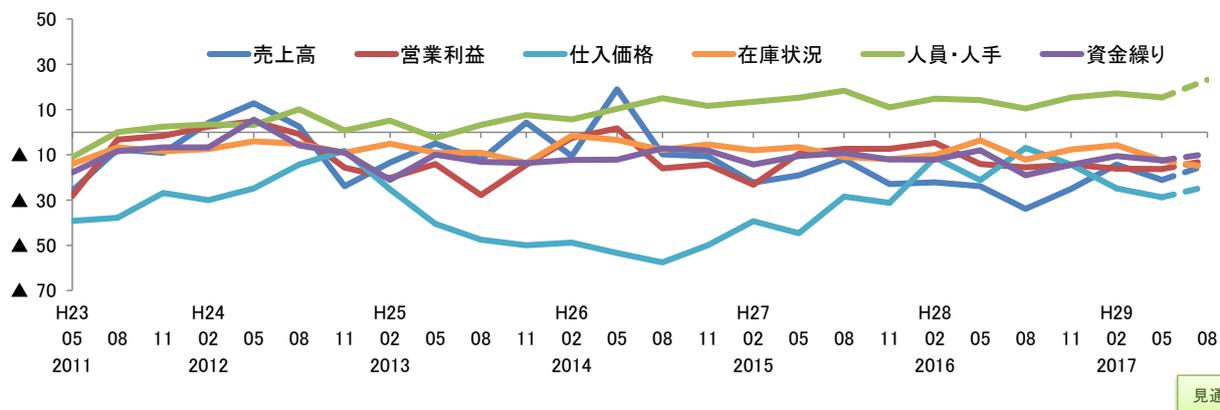
図表 7 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.05 (n=113)	▲ 23.0	(▲ 3.6)	▲ 24.1	▲ 23.9	▲ 14.1	▲ 21.2	▲ 3.6	14.2	▲ 8.0
H 28.08 (n=115)	▲ 23.4	(▲ 0.4)	▲ 14.2	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 28.11 (n=104)	▲ 20.2	(3.2)	▲ 12.2	▲ 25.0	▲ 14.4	▲ 14.4	▲ 7.7	15.4	▲ 14.4
H 29.02 (n=105)	▲ 16.1	(4.1)	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 16.1	▲ 24.8	▲ 5.7	17.2	▲ 10.5
H 29.05 (n=104)	▲ 22.1	(▲ 6.0)	▲ 18.1	▲ 21.1	▲ 16.3	▲ 28.8	▲ 12.5	15.4	▲ 12.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 0.2)	(▲ 4.0)	(▲ 6.8)	(▲ 1.8)	(▲ 2.0)
先行き見通し	▲ 13.4	-	-	▲ 14.4	▲ 12.5	▲ 24.0	▲ 15.4	23.1	▲ 9.6
今回調査比	(8.7)	-	-	(6.7)	(3.8)	(4.8)	(▲ 2.9)	(7.7)	(2.9)

図表 8 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 今期は新しい商材の売買と仕入れルートの増加が売り上げ・利益に貢献した。(村山南)
- 温暖化と海外の成長国の魚乱獲が日本の水産業に打撃となり、漁獲量の減少から廃業に追い込まれている水産加工業者もあるなど、取り巻く環境は厳しい。(村山北)
- 輸入商品が増え、資金準備が大変である。為替の変動が激しく、利益の安定が難しい。(最上)
- 輸入時のトラブルが続き販売する玉がなく売り上げの低迷に歯止めがかからない。売りたいくても売れる物がないのは本当に厳しい。(置賜)
- 今期も非常に厳しい状況が続くし、改善される見通しも立たない。(庄内田川)
- 一般卸は依然低迷しているが、企業直需、大口需要家への販売は引き続き好調。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 来期に関しては不透明感があり読めないが、大きな変動点は今のところ見えず、施策の履行により若干の増収増益になるよう取り組んでいく。(村山南)
- 新規事業の開拓に前向きに取り組んでいるが、人手の確保の難しさがさらに厳しくなっている。(村山北)
- 人員を募集してもなかなか良い人材が集まらない現状で、新たなことを始める前にまず、良い人材の確保のため休日の見直しや、より働きやすい会社にしていくためにどのようにしていったらよいかさらに考えていく必要がある。(置賜)
- IT 導入支援補助金や軽減税率補助金等の提案により導入企業が増える見込みで売り上げ増加が見込める。(庄内田川)
- 公共事業に依存せず、一般顧客向け商品の取り扱い量を増やす。(庄内飽海)

④ サービス業

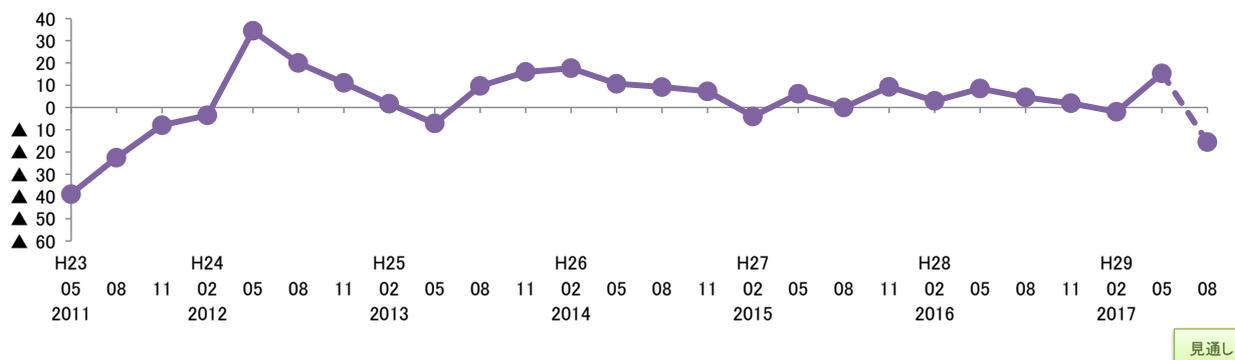
現状：4期ぶりに改善

「自社の業況DI値（前年同期比）」は15.4（前回調査比17.3ポイント上昇）と4期ぶりに改善し、DI値がプラスに転じた。「各種DI値（前年同期比）」をみると、すべての項目で改善となっている。土木建築サービス業など建設関連や観光関連などで業況改善の状況がみられる。

来期の見通し：大幅な悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲15.5（今回調査比30.9ポイント下落）と大幅に悪化し、DI値が再びマイナスに転じる見込みとなっている。

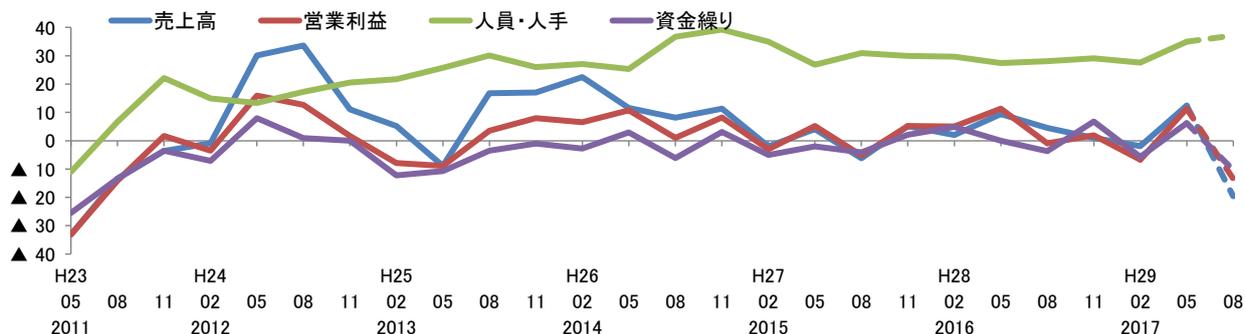
図表 9 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 28.05 (n=106)	8.5	(5.5)	▲ 8.9	9.4	11.3	27.4	0.0
H 28.08 (n=110)	4.6	(▲ 3.9)	▲ 19.8	4.5	▲ 0.9	28.1	▲ 3.7
H 28.11 (n=103)	1.9	(▲ 2.7)	▲ 9.1	1.0	1.9	29.1	6.8
H 29.02 (n=105)	▲ 1.9	(▲ 3.8)	▲ 17.5	▲ 1.9	▲ 6.7	27.6	▲ 5.7
H 29.05 (n=97)	15.4	(17.3)	▲ 2.9	12.4	11.3	35.0	6.2
前回調査比	-	-	-	(14.3)	(18.0)	(7.4)	(11.9)
先行き見通し	▲ 15.5	-	-	▲ 19.6	▲ 13.4	37.1	▲ 10.3
今回調査比	(▲ 30.9)	-	-	(▲ 32.0)	(▲ 24.7)	(2.1)	(▲ 16.5)

図表 10 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

Q. 今期の業況について

業界の声

- 今期については前年度比較で増収増益の見込み。(村山南)
- 飲食部門は、消費単価が前年比プラスで推移しており、安定している。(村山南)
- 業務発注量が減少傾向にあり、競争が激化している。(村山北)
- 今期は前年と比べて売り上げ・利益共にダウンする見通し。(最上)
- さほど変わりなく推移すると推測される。(置賜)
- 今期は、売り上げ重視より利益重視に考えを転換しつつあり、基本的には減収増益を志向している。収益性の高い個人客の取り込みに注力している。(庄内田川)
- 順調に推移（増収増益の見込み。仕事量はあるものの、人員は不足）。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 来期は、IoT・クラウド化への需要が高まる一方で採算面での工夫が必要となる。(村山南)
- 新技術・次世代技術導入補助金の活用や若手育成等に力を入れていく。(村山北)
- インターネット販売の充実を図り、同時に新製品の開発が必要になってきている。(最上)
- 自社パッケージの競争力の強化をはかる。また、山形県の新補助金の活用を計画している。(置賜)
- 社内業務工程の見直し、あわせて無駄な労働時間を洗い出し、削減する。(庄内田川)
- 従業員の紹介制度などを創設して人員確保に努めている。(庄内飽海)

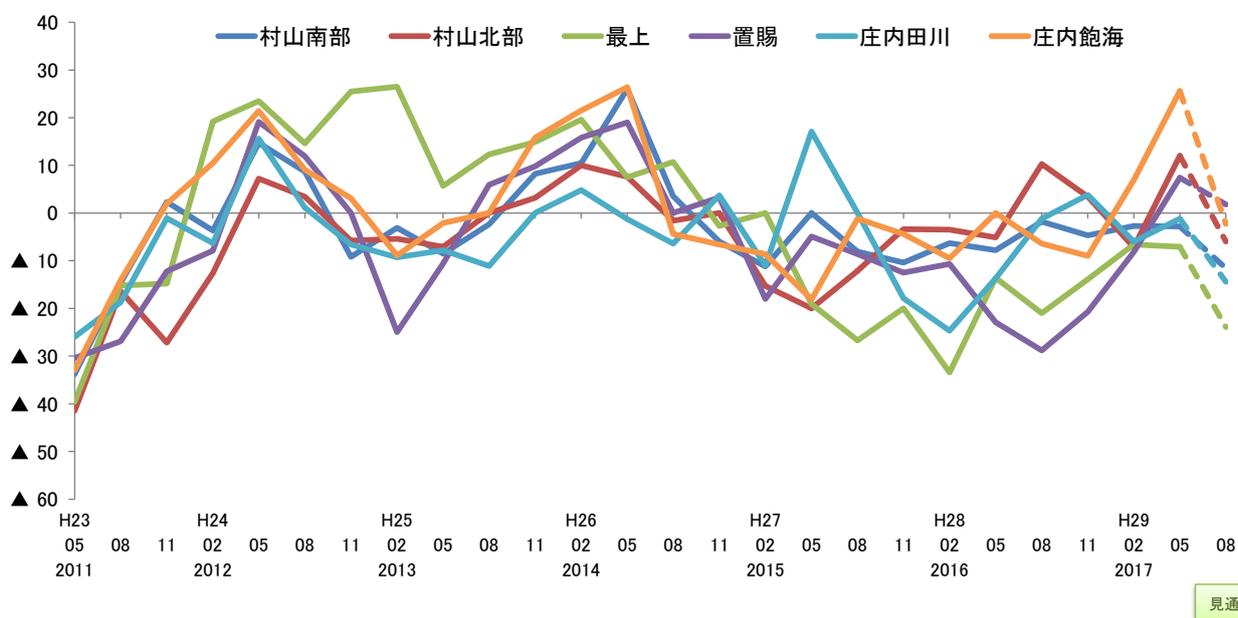
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲2.8（前回調査比 0.1 ポイント下落）、村山北部が 12.0（前回調査比 19.2 ポイント上昇）、最上が▲7.1（前回調査比 0.5 ポイント下落）、置賜が 7.4（前回調査比 15.6 ポイント上昇）、庄内田川が▲1.2（前回調査比 4.8 ポイント上昇）、庄内飽海が 25.6（前回調査比 18.7 ポイント上昇）と、村山南部と最上でほぼ横ばいとなり、村山北部、置賜、庄内田川および庄内飽海で改善となった。置賜では 10 期ぶりに D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 11 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 7.8	▲ 5.1	▲ 13.6	▲ 22.9	▲ 13.7	0.0
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	▲ 1.8	10.3	▲ 21.0	▲ 28.8	▲ 1.2	▲ 6.4
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 4.7	3.4	▲ 13.9	▲ 20.7	3.8	▲ 9.0
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 7.2	▲ 6.6	▲ 8.2	▲ 6.0	6.9
H 29.05 (n=419)	6.0	▲ 2.8	12.0	▲ 7.1	7.4	▲ 1.2	25.6
前回調査比	(9.1)	(▲ 0.1)	(19.2)	(▲ 0.5)	(15.6)	(4.8)	(18.7)
先行き見通し	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 6.0	▲ 23.9	1.8	▲ 14.4	▲ 2.3
今回調査比	(▲ 15.0)	(▲ 8.8)	(▲ 18.0)	(▲ 16.8)	(▲ 5.6)	(▲ 13.2)	(▲ 27.9)

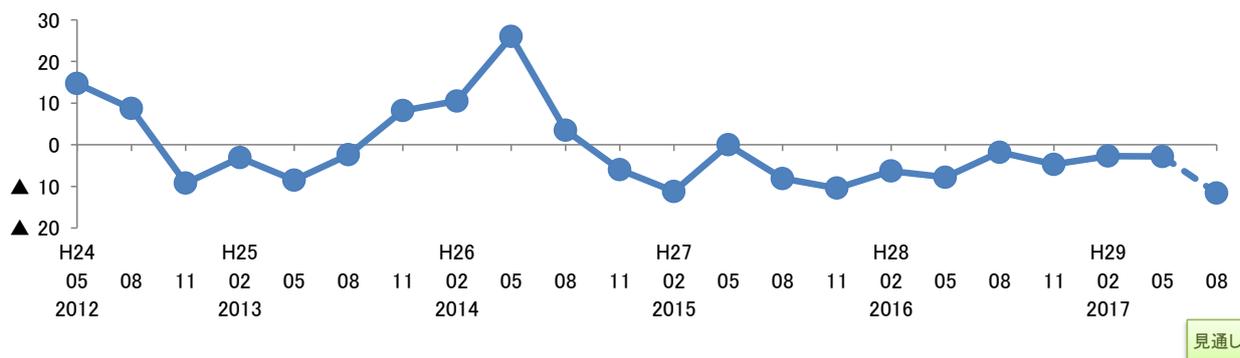
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

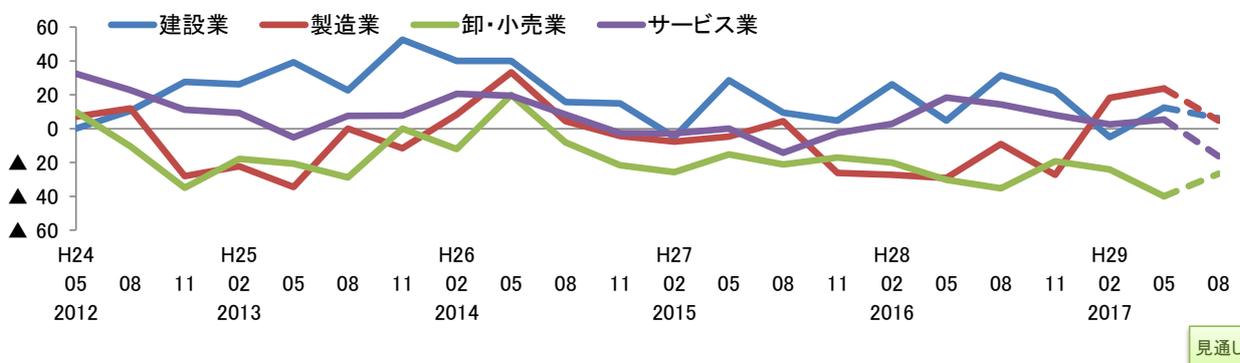
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲2.8（前回調査比 0.1 ポイント下落）と、ほぼ横ばいとなった。業種別にみると、卸・小売業で悪化したものの、その他の 3 業種は改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲11.6（今回調査比 8.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 12 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 13 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

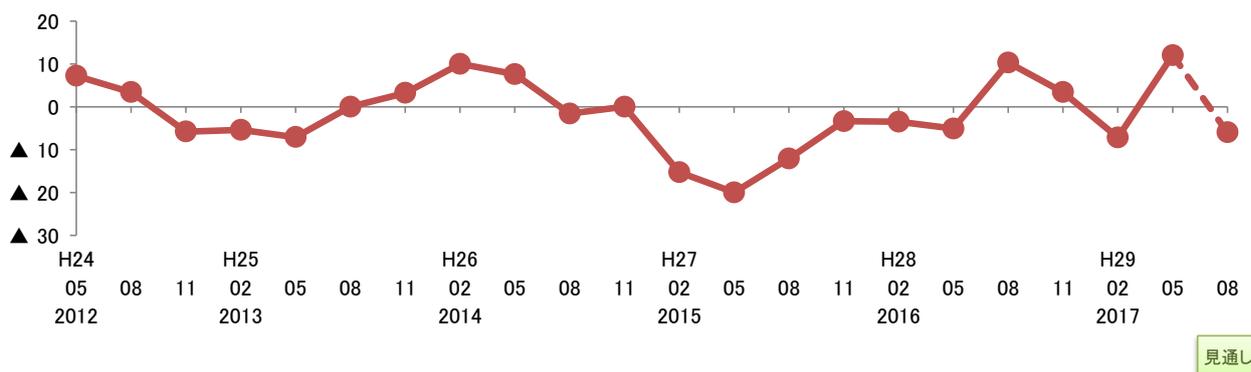
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=116)	▲ 7.8	(▲ 1.5)	▲ 11.6	4.8	▲ 29.1	▲ 30.3	18.4
H 28.08 (n=117)	▲ 1.8	(6.0)	▲ 14.7	31.5	▲ 9.1	▲ 35.3	14.3
H 28.11 (n=108)	▲ 4.7	(▲ 2.9)	▲ 11.1	22.2	▲ 27.2	▲ 19.3	8.1
H 29.02 (n=111)	▲ 2.7	(2.0)	▲ 11.1	▲ 5.0	18.2	▲ 24.1	2.5
H 29.05 (n=104)	▲ 2.8	(▲ 0.1)	▲ 7.2	12.5	23.8	▲ 40.0	5.4
前回調査比	-	-	-	(17.5)	(5.6)	(▲ 15.9)	(2.9)
先行き見通し	▲ 11.6	-	-	6.2	4.7	▲ 26.6	▲ 16.2
今回調査比	(▲ 8.8)	-	-	(▲ 6.3)	(▲ 19.1)	(13.4)	(▲ 21.6)

② 村山北部

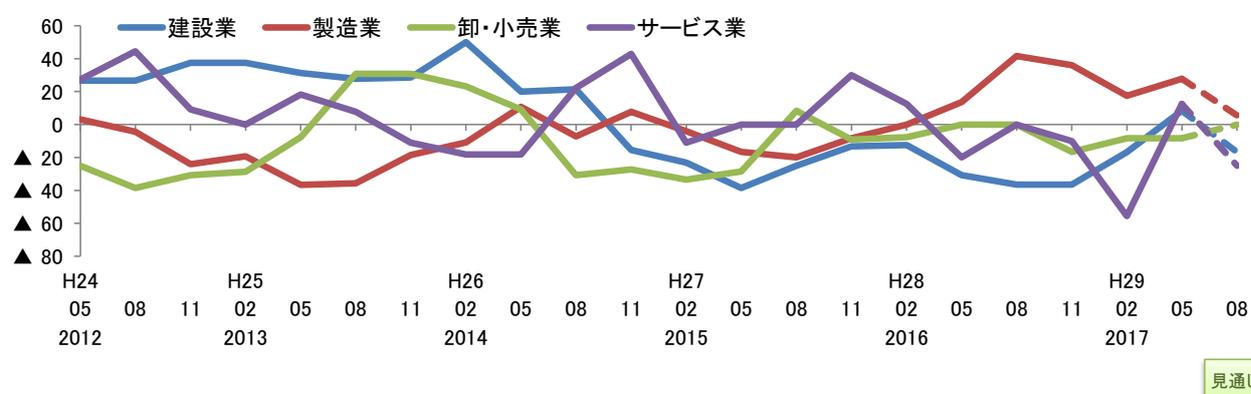
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 12.0（前回調査比 19.2 ポイント上昇）と大幅に改善した。業種別にみると、卸・小売業で横ばい、その他の 3 業種は大幅な改善となった。建設業では 11 期ぶり、サービス業では 5 期ぶりに D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲6.0（今回調査比 18.0 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 14 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 15 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

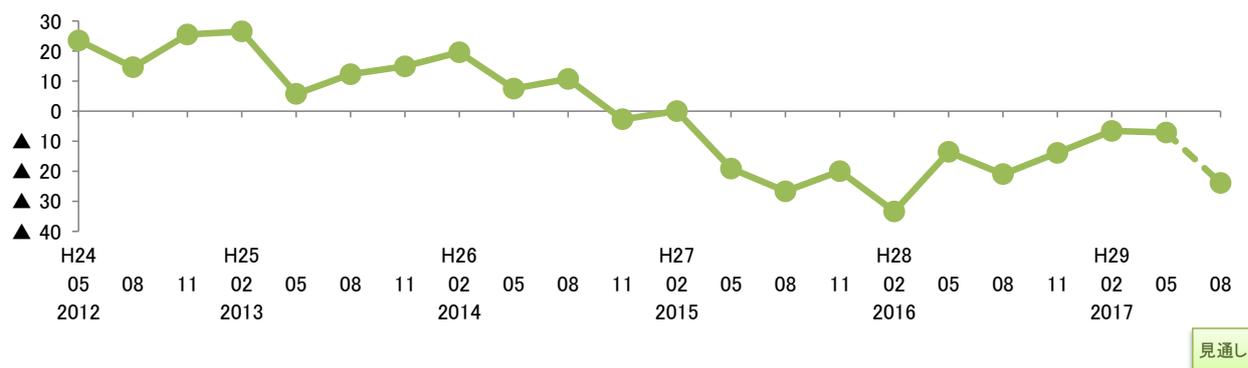
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=59)	▲ 5.1	(▲ 1.6)	▲ 15.8	▲ 30.8	13.7	0.0	▲ 20.0
H 28.08 (n=58)	10.3	(15.4)	3.4	▲ 36.4	41.6	0.0	0.0
H 28.11 (n=58)	3.4	(▲ 6.9)	5.1	▲ 36.4	36.0	▲ 16.6	▲ 10.0
H 29.02 (n=56)	▲ 7.2	(▲ 10.6)	1.8	▲ 16.7	17.4	▲ 8.3	▲ 55.6
H 29.05 (n=50)	12.0	(19.2)	▲ 16.1	8.3	27.7	▲ 8.3	12.5
前回調査比	-	-	-	(25.0)	(10.3)	(0.0)	(68.1)
先行き見通し	▲ 6.0	-	-	▲ 16.7	5.5	0.0	▲ 25.0
今回調査比	(▲ 18.0)	-	-	(▲ 25.0)	(▲ 22.2)	(8.3)	(▲ 37.5)

③ 最上

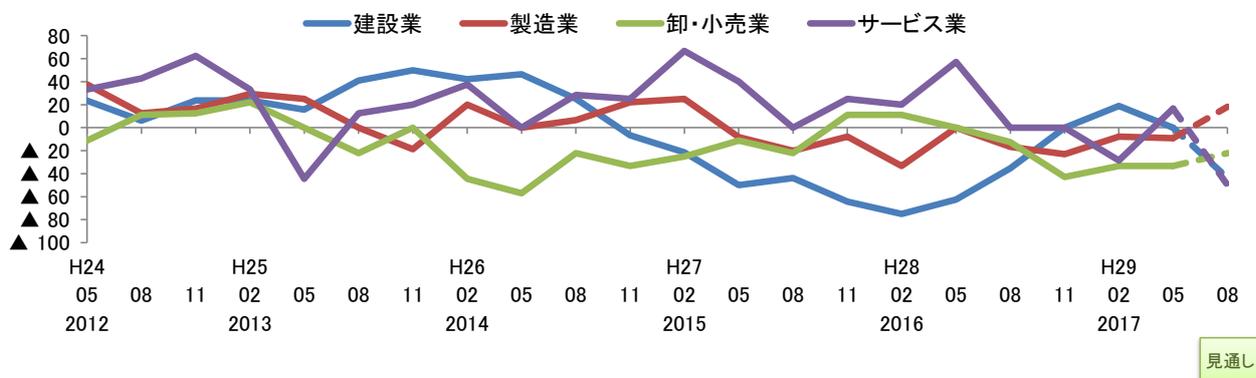
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲7.1（前回調査比0.5ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、製造業と卸・小売業が横ばいないしほぼ横ばい、建設業で悪化となったものの、サービス業が大幅に改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲23.9（今回調査比16.8ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 16 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 17 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

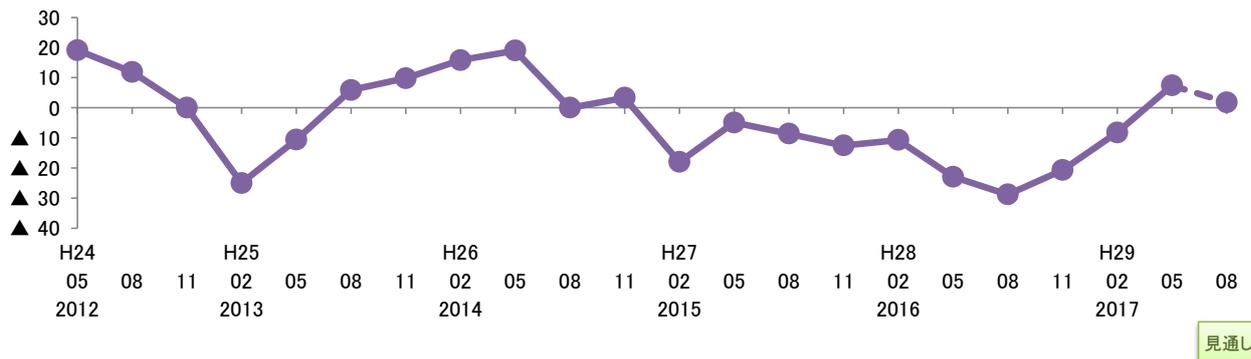
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=44)	▲ 13.6	(19.8)	▲ 40.5	▲ 62.5	0.0	0.0	57.1
H 28.08 (n=43)	▲ 21.0	(▲ 7.4)	▲ 20.5	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 12.5	0.0
H 28.11 (n=43)	▲ 13.9	(7.1)	▲ 9.3	0.0	▲ 23.1	▲ 42.9	0.0
H 29.02 (n=45)	▲ 6.6	(7.3)	▲ 9.3	18.8	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 28.6
H 29.05 (n=42)	▲ 7.1	(▲ 0.5)	▲ 22.2	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	16.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 18.8)	(▲ 1.4)	(0.0)	(45.2)
先行き見通し	▲ 23.9	-	-	▲ 43.8	18.2	▲ 22.2	▲ 50.0
今回調査比	(▲ 16.8)	-	-	(▲ 43.8)	(27.3)	(11.1)	(▲ 66.6)

④ 置 賜

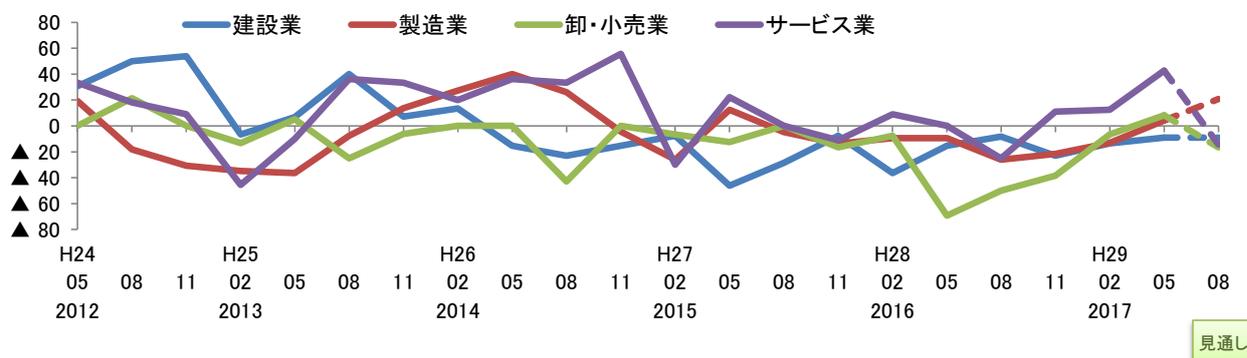
「自社の業況DI値（前年同期比）」は7.4（前回調査比 15.6 ポイント上昇）と大幅に改善し、10期ぶりにDI値がプラスに転じた。業種別にみると、すべての業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が1.8（今回調査比 5.6 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 18 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 19 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

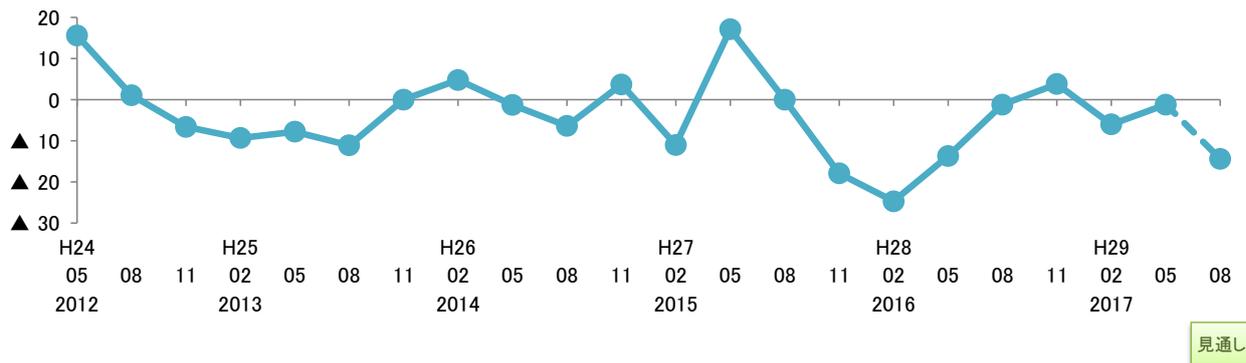
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=57)	▲ 22.9	(▲ 12.2)	▲ 17.8	▲ 15.4	▲ 9.5	▲ 69.2	0.0
H 28.08 (n=59)	▲ 28.8	(▲ 5.9)	▲ 24.5	▲ 8.3	▲ 26.1	▲ 50.0	▲ 25.0
H 28.11 (n=58)	▲ 20.7	(8.1)	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 21.7	▲ 38.5	11.1
H 29.02 (n=61)	▲ 8.2	(12.5)	▲ 13.8	▲ 13.4	▲ 13.1	▲ 6.6	12.5
H 29.05 (n=54)	7.4	(15.6)	▲ 16.4	▲ 9.1	4.1	8.3	42.8
前回調査比	-	-	-	(4.3)	(17.2)	(14.9)	(30.3)
先行き見通し	1.8	-	-	▲ 9.1	20.8	▲ 16.6	▲ 14.3
今回調査比	(▲ 5.6)	-	-	(0.0)	(16.7)	(▲ 24.9)	(▲ 57.1)

⑤ 庄内田川

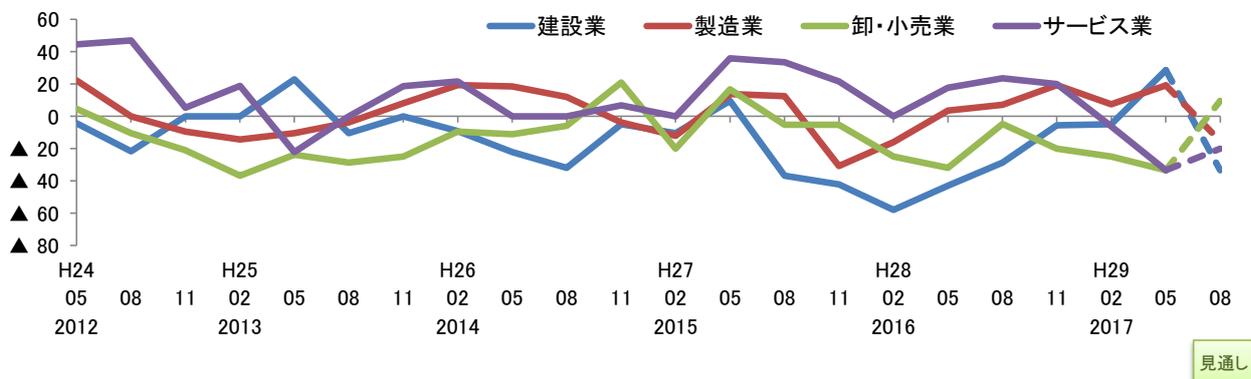
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲1.2（前回調査比 4.8 ポイント上昇）と改善となった。業種別にみると、卸・小売業とサービス業で悪化したものの、建設業と製造業で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲14.4（今回調査比 13.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 20 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 21 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

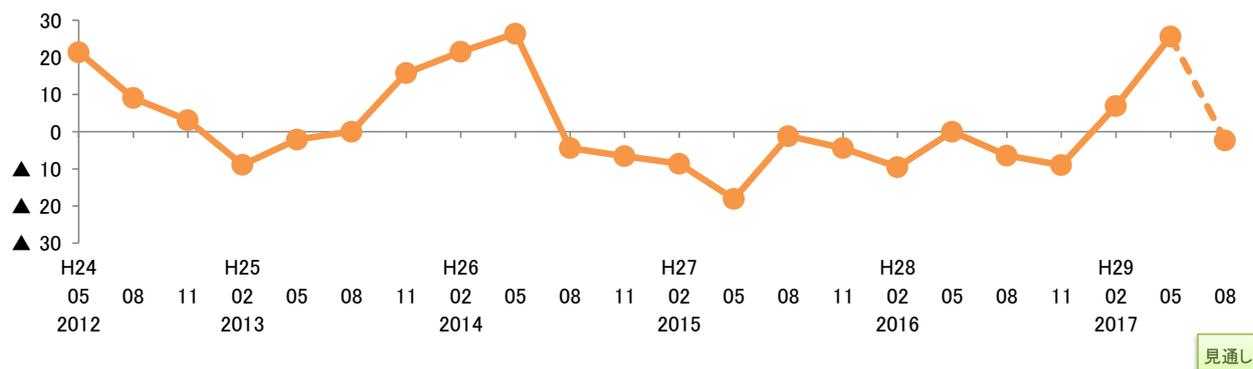
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 05 (n=88)	▲ 13.7	(11.0)	▲ 26.0	▲ 42.9	3.5	▲ 31.9	17.7
H 28. 08 (n=87)	▲ 1.2	(12.5)	▲ 12.5	▲ 28.6	7.1	▲ 4.8	23.5
H 28. 11 (n=79)	3.8	(5.0)	▲ 18.4	▲ 5.6	19.3	▲ 20.0	20.0
H 29. 02 (n=83)	▲ 6.0	(▲ 9.8)	▲ 7.6	▲ 5.0	7.4	▲ 25.0	▲ 6.2
H 29. 05 (n=83)	▲ 1.2	(4.8)	▲ 8.4	28.6	19.2	▲ 33.3	▲ 33.3
前回調査比	-	-	-	(33.6)	(11.8)	(▲ 8.3)	(▲ 27.1)
先行き見通し	▲ 14.4	-	-	▲ 33.4	▲ 15.4	9.6	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 13.2)	-	-	(▲ 62.0)	(▲ 34.6)	(42.9)	(13.3)

⑥ 庄内飽海

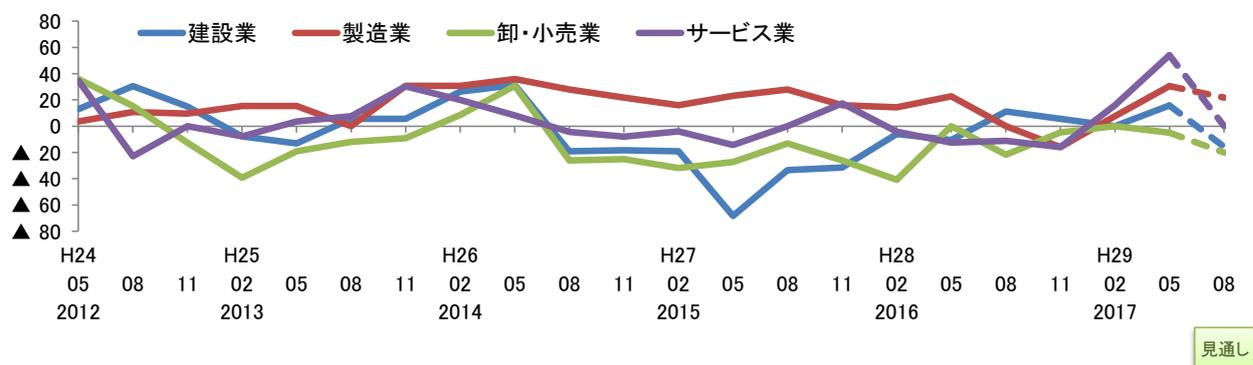
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 25.6（前回調査比 18.7 ポイント上昇）と改善となった。業種別にみると、卸・小売業で悪化したものの、その他の 3 業種で大幅な改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲2.3（今回調査比 27.9 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 22 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 23 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 05 (n=87)	0.0	(9.5)	▲ 19.1	▲ 10.5	22.7	0.0	▲ 12.5
H 28. 08 (n=93)	▲ 6.4	(▲ 6.4)	▲ 16.1	11.1	0.0	▲ 21.7	▲ 11.1
H 28. 11 (n=89)	▲ 9.0	(▲ 2.6)	▲ 12.9	5.6	▲ 16.0	▲ 4.8	▲ 16.0
H 29. 02 (n=87)	6.9	(15.9)	▲ 16.9	0.0	7.7	0.0	16.0
H 29. 05 (n=86)	25.6	(18.7)	▲ 3.5	15.8	30.5	▲ 5.0	54.1
前回調査比	-	-	-	(15.8)	(22.8)	(▲ 5.0)	(38.1)
先行き見通し	▲ 2.3	-	-	▲ 15.8	21.8	▲ 20.0	0.0
今回調査比	(▲ 27.9)	-	-	(▲ 31.6)	(▲ 8.7)	(▲ 15.0)	(▲ 54.1)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 → 来期の見通し

庄内飽海

→

最上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置賜

→

村山南部

→

今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

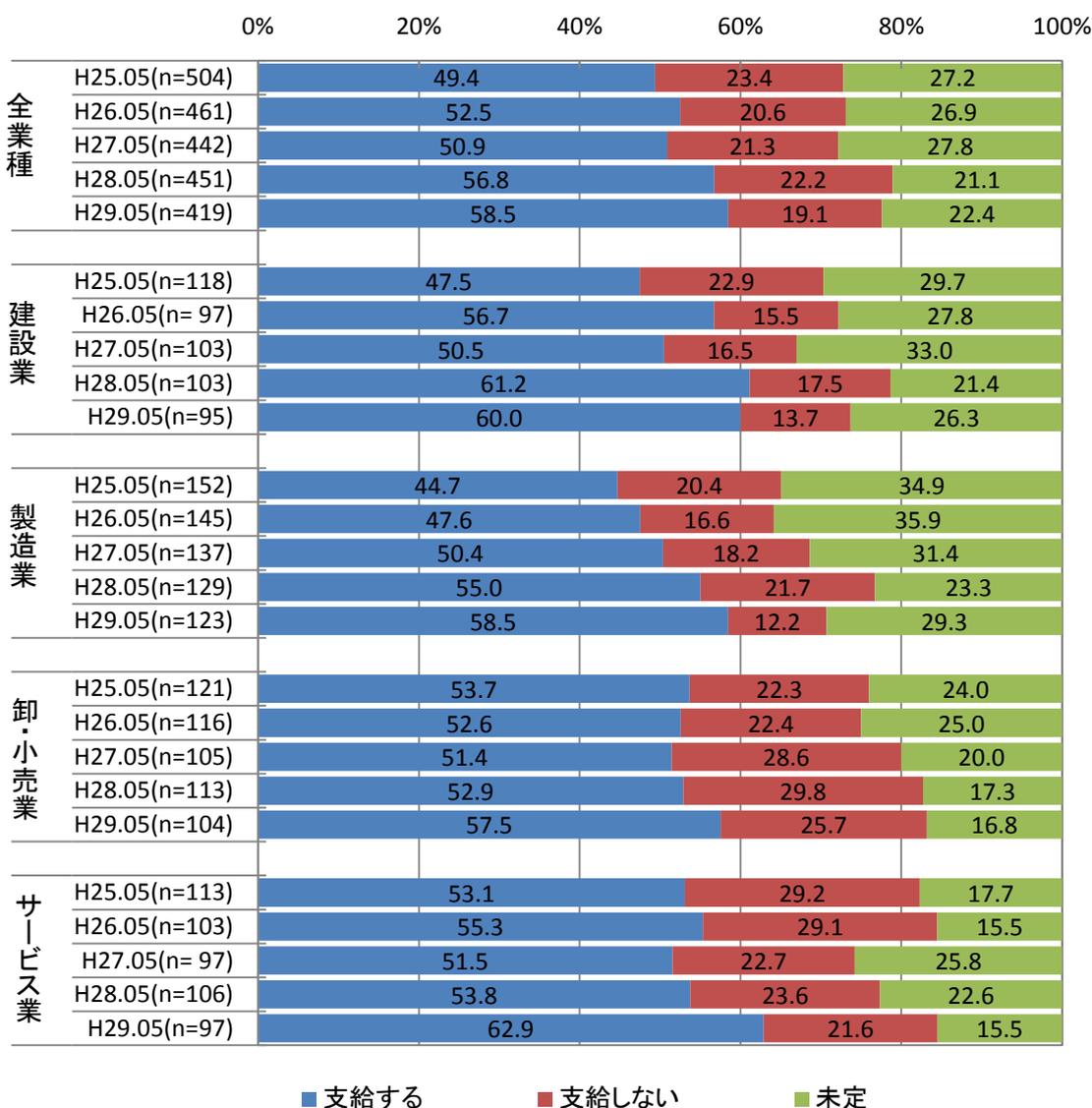
1. 夏季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で見ると、「支給する」と回答した企業の割合は 58.5%と前年（56.8%）に比べて 1.7 ポイント上昇した。

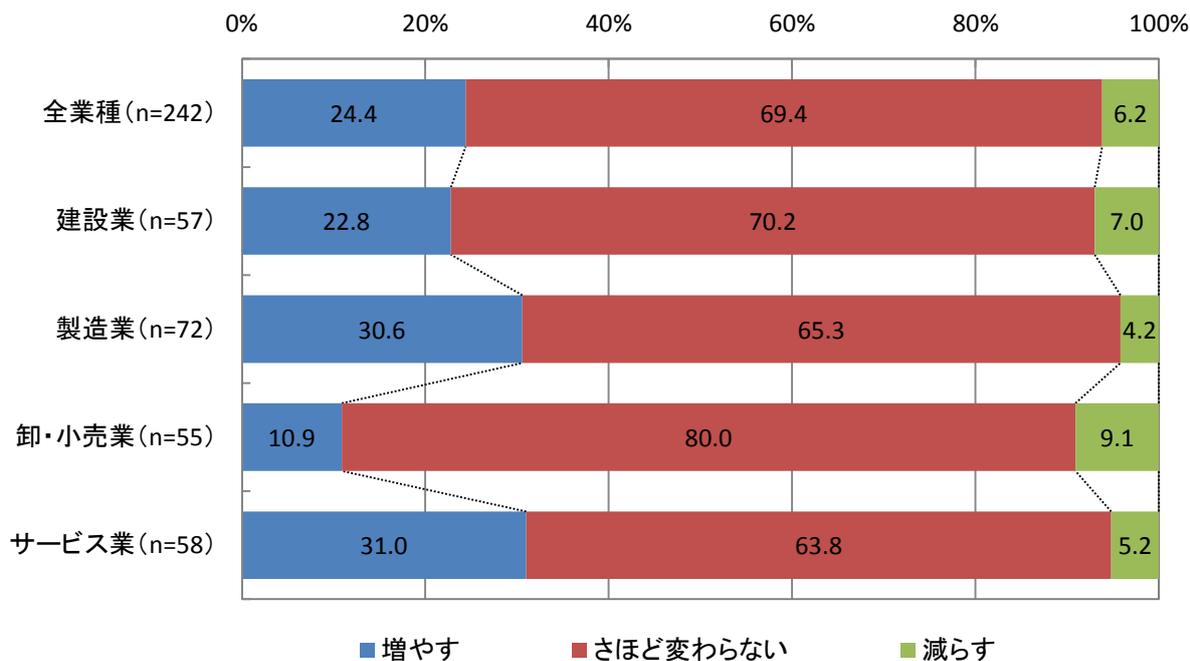
業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 60.0%（前年比 1.2 ポイント低下）、製造業が 58.5%（前年比 3.5 ポイント上昇）、卸・小売業が 57.5%（前年比 4.6 ポイント上昇）、サービス業が 62.9%（前年比 9.1 ポイント上昇）と、建設業で若干低下したものの、その他の 3 業種で上昇した。

図表 24 業種別 夏季ボーナス支給動向の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、前年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種で見ると「さほど変わらない」と回答した企業が 69.4%と最も多く、「増やす」と回答した企業は 24.4%であった。業種別にみると、卸・小売業で「増やす」と回答した企業の割合が他業種に比べて低くなっている。

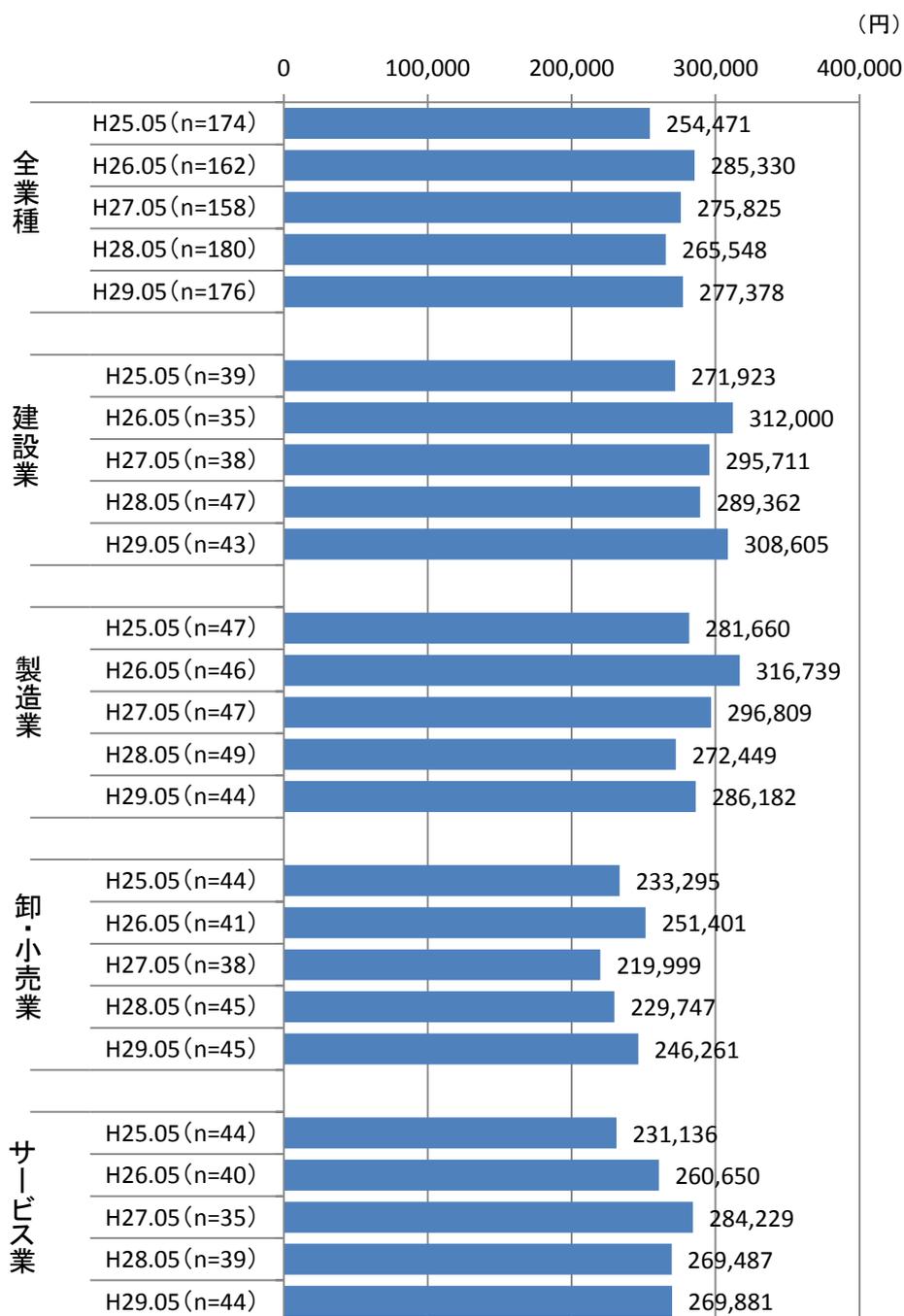
図表 25 業種別 夏季ボーナスを支給する企業の方針



(2) 支給予定額

夏季ボーナスの支給予定額については、全業種平均で 277,378 円となり、前年に比べると約 1.2 万円(4.45%)の増加となる見込みである。業種別にみると、前年に比してサービス業でほぼ横ばい、他の 3 業種で増加する見込みとなっている。平均支給予定額が最も多いのは建設業で 308,605 円となり、次いで製造業、サービス業、卸・小売業の順となっている。

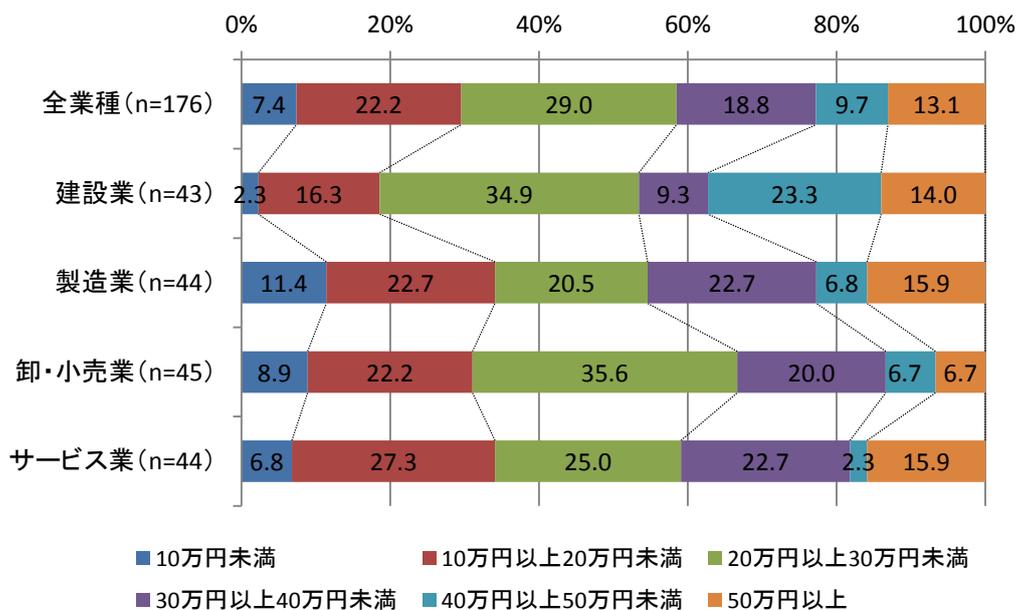
図表 26 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額の推移



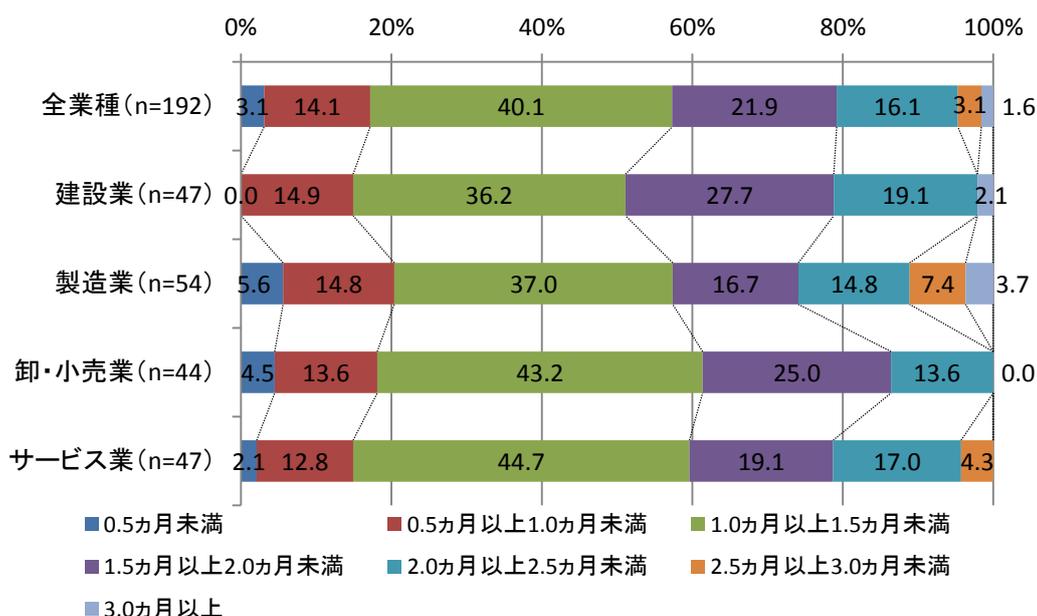
平均支給予定額は、全業種で「20万円以上30万円未満」と回答した企業の割合が最も高く、29.0%となっている。

平均支給予定月数は、全業種で「1.0カ月以上1.5カ月未満」と回答した企業の割合が最も高く、40.1%となっている。

図表 27 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額



図表 28 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定月数

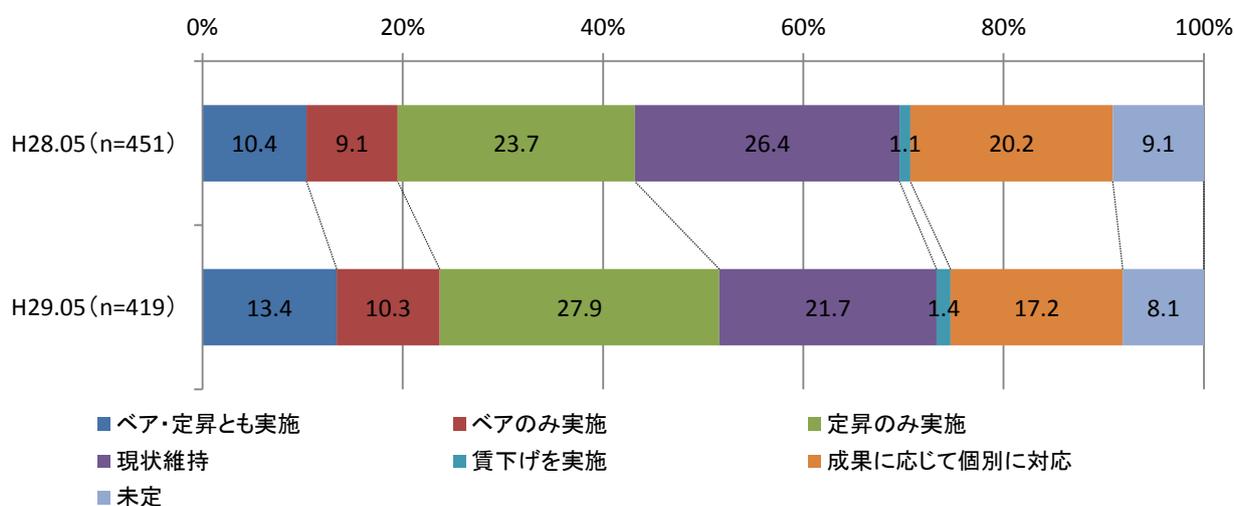


2. 春季以降の賃金改定動向について

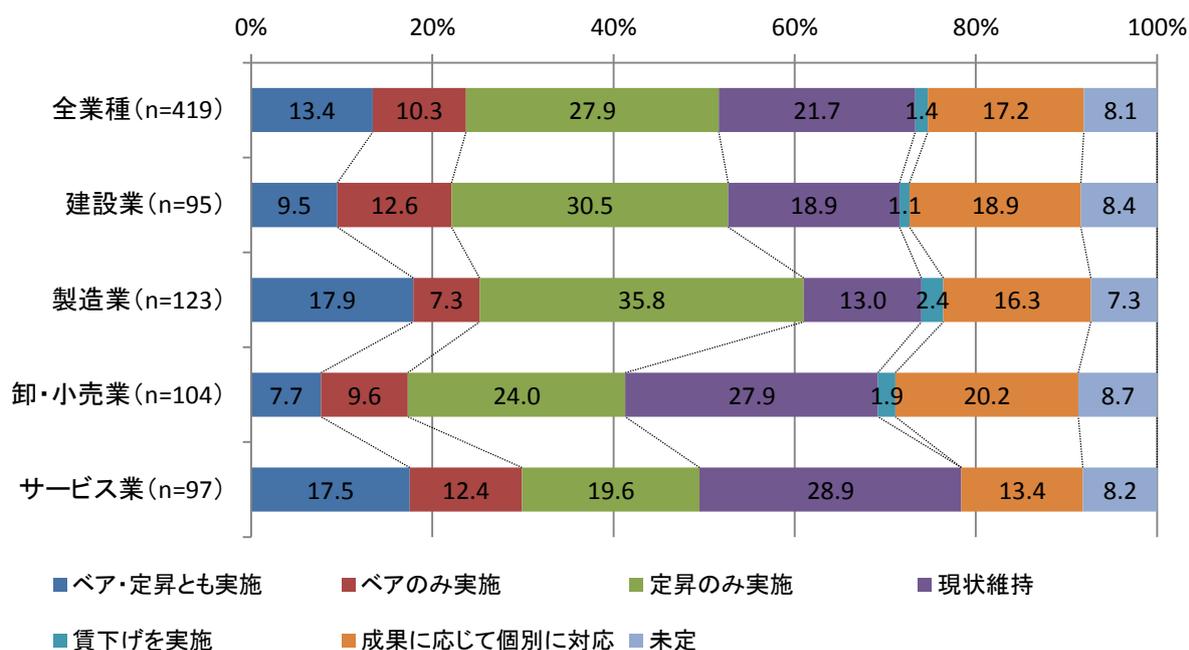
平成 29 年 4 月以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）を尋ねたところ、賃上げを実施する企業の割合（「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」）は、全業種で 51.6% と 5 割以上を占め、前年（43.2%）に比べ、8.4 ポイント上昇した。一方、賃下げの実施などその他の割合（「賃下げを実施」+「成果に応じて個別に対応」+「未定」）は 26.7% と前年（30.4%）に比べ、3.7 ポイント低下した。

業種別にみると、賃上げを実施する企業の割合は製造業が 61.0% と最も高く、賃下げの実施などその他の割合は卸・小売業が 30.8% と最も高い。

図表 29 全業種 賃金改定動向の推移



図表 30 業種別 賃金改定動向



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	48	55	161
村山北部	21	36	17	18	92
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	14	94
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	35	36	32	38	141
合計	153	195	162	172	682

(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	16	21	30	37	104
村山北部	12	18	12	8	50
最上	16	11	9	6	42
置賜	11	24	12	7	54
庄内田川	21	26	21	15	83
庄内飽海	19	23	20	24	86
合計	95	123	104	97	419

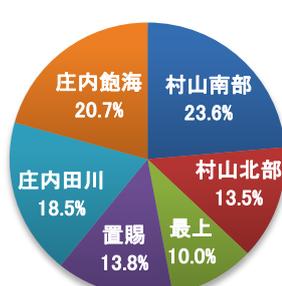
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	69.6	60.0	62.5	67.3	64.6
村山北部	57.1	50.0	70.6	44.4	54.3
最上	76.2	61.1	81.8	33.3	61.8
置賜	47.8	75.0	48.0	50.0	57.4
庄内田川	70.0	68.4	72.4	51.7	65.9
庄内飽海	54.3	63.9	62.5	63.2	61.0
合計	62.1	63.1	64.2	56.4	61.4

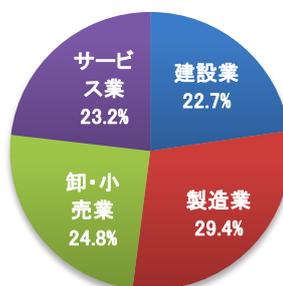
サンプル割合（業種別）



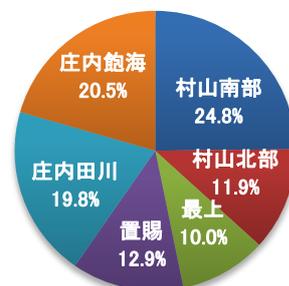
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

平成 29 年 5 月 8 日(月)～16 日(火)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製(商)品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>